



ひとよし市議会だより

2016/第89号/平成28年8月15日

発行：熊本県人吉市議会／編集：議会報編集委員会



移転した保健センターと勤労青少年ホーム

CONTENTS

主な 内容

- P 2 …………… 定例会報告・総務文教委員会報告
- P 3～4 …………… 各委員会報告
- P 5～8 …………… 一般質問、議案等の議決結果
- P 9 …………… 意見書、平成 27 年度政務活動費収支報告
- P 10 …………… 南九州中部市議会議長会議員研修会、編集後記

市のホームページでもご覧になれます。

URL <http://www.city.hitoyoshi.lg.jp> / E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp

平成28年6月定例会を6月6日から6月28日までの 23日間の日程で開催しました

一般会計補正予算3億1,442万6千円増額を可決 (補正後の総額は154億6,455万円)

《主なもの》

庁舎機能災害復旧事業	1億3,379万3千円
臨時福祉給付金事業	4,020万円
スマート林業展開事業	3,500万円

《特別会計》

国民健康保険事業特別会計	162万円増額し	総額50億4,678万7千円
介護保険特別会計	86万6千円増額し	総額42億3,095万8千円
水道事業特別会計 収益的支出	71万1千円増額し	総額 5億 983万1千円

《人事案件》

○人権擁護委員に下記の方々を推薦同意しました。

谷川 悦夫氏・鶴崎 順子氏

平成28年7月8日に臨時会を開催しました

市庁舎建設に向けた設計委託料や7月1日の機構改革で設置した市庁舎建設準備室、熊本地震に伴う経済対策に要する経費などを組み入れた補正予算を原案可決しました。

総務文教委員会報告

●委員長 西 信八郎 ●副委員長 宮原 将志
●委員 宮崎 保・犬童 利夫・本村 令斗・田中 哲

庁舎移転に伴う予算及び条例を承認

4月14日に発生した前震及び4月16日に発生した本震をはじめとする平成28年熊本地震に伴い、早急な庁舎機能移転が必要となったことから、庁舎機能移転に係る経費1億1,579万3千円の増額補正を承認しました。

内容の主なものは、電算機器・防災行政無線の移設費、カルチャーパレス仮本庁舎及びスポーツパレス別館への警備システムの導入や照明・エアコンの工事費、旧人吉看護専門学校工事費などです。

また、条例の一部改正は、市の施設が一時移転することに伴い、各施設の位置を一時的に移転先に変更するため、特例を定めるものなどです。

カルチャーパレス仮本庁舎会議室等のプレハブリース料を承認

平成28年熊本地震による人吉市庁舎の一時移転に伴い、カルチャーパレス仮本庁舎及び西間別館において会議室等が不足することからプレハブを借り上げるもので、期間は平成28年度から平成31年度まで、見込み額は総額7,200万円です。

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成による補助の決定

採択を受けた人吉市矢黒町内会における無線放送システム整備、及び中原校区海棠まつり保存会における祭り運営備品整備に対する補助金それぞれ250万円を承認しました。

平成28年度の地方創生推進交付金事業を国に申請

事業の主な内容は、DMOの設立に向け、先進地等から講師を招いての勉強会の実施、災害時における要援護者支援システムの構築、外国人観光客向けの音声翻訳機(タブレット端末)購入などです。なお、国において申請が認められなかったときは、これらの事業は行わないとの答弁がありました。

※DMOとは マーケティングに基づく観光戦略の策定・推進や、地域内の幅広い関係者との合意形成など、観光事業のマネジメントを担う機能・組織のこと。

その他承認した予算の主なもの

○小学校タブレット購入費(60台分)	596万2千円
○人吉城歴史館特別展に関する経費	105万6千円
○老神神社保存整備補助金	92万6千円

厚生委員会報告

●委員長 三倉 美千子 ●副委員長 塩見 寿子
●委員 高瀬 堅一・井上 光浩・村上 恵一・仲村 勝治

新たな上水道施設遠方監視装置を視察

蟹作町の旧水道局庁舎に設置されていた上水道施設遠方監視装置ですが、老朽化による延命化（修繕）も限界となり、またソフトウェアが既にサポート中止していることなどから、新たなクラウド型の監視装置が整備され、4月1日から本格稼働しました。

クラウド型（インターネット上に保存）に変更することにより、いつでもどこでも閲覧、監視ができ、異常があれば職員の携帯電話へ通報され、監視点検業務の効率化や非常時における迅速な対応が図れます。



新水道施設遠方監視装置イメージ

人吉市水道事業運営審議会を設置

今後の社会情勢の変化や利用者ニーズを把握し、適正な事業運営を図るためには、水道事業に係るさ

まざまな方々に御意見を伺い、御理解をいただく場が必要であること。また、下水道事業運営審議会は既に設置されていますが、本市は上水道の給水区域と下水道の処理区域が異なることから、新たに市長の諮問機関として審議会が設置されます。

専決処分（予算3件、条例3件）を承認

予算関係…個人番号カード交付事務補助金の変更確定や市民後見推進事業費補助金の交付確定に伴う予算（平成27年度）や、臨時福祉給付金支給事業における5月から7月までの事務費に伴う予算（平成28年度）

条例関係…地方税法等の一部を改正する等の法律等が3月に公布されたことなどに伴い、市税条例等、都市計画税条例及び国民健康保険税条例における一部改正

個人番号カードの交付状況

委員会審査の過程で、5月末現在での申請件数・交付率について報告がありました。

申請件数 全国(8.7%) 熊本県(8.8%) 人吉市(10.2%)

交付率 全国(3.7%) 熊本県(3%) 人吉市(5.3%)

県下ではいずれも高いほうの位置にあります。

経済建設委員会報告

●委員長 平田 清吉 ●副委員長 福屋 法晴
●委員 大塚 則男・豊永 貞夫・笹山 欣悟・永山 芳宏

七地町の市道路線の廃止及び認定を承認

本件は、太陽光発電施設による土地利用計画に伴い、市道の付替え及び拡張を行うことで、市道の利活用や利便性が向上することから、市道の廃止及び認定を行うものです。

七地地内第8号線は、七地町字花立901番3地先を起点とし、七地町字藤平993番地先を終点とする路線を一旦廃止し、起点を花立903番地先とし、終点を花立983番地先とする全体延長307.7mを付替え再認定するものです。七地地内第15号線は、新たに花立974番1地先を起点とし、終点を花立975番1地先とする全体延長76.0mの路線を認定するものです。現地視察を行い承認しました。

平成28年度一般会計補正予算を承認

本予算の補正は、農林水産業費を3,796万1千円増額し、補正後の額を4億1,149万2千円とするものです。

主なものは、人吉ブランド化実行委員会補助金、人吉市グリーンツーリズム推進協議会補助金、大畑麓町の集落営農組織（大畑営農生産組合）の法人設立に対する農業経営力向上支援事業補助金、スマート林業展開事業委託料などです。

また、土木費に836万1千円を追加し、補正後の額を15億2,588万円とするものです。

主なものは、平成29年度に社会資本整備総合交付金事業として予定している、門前団地の給水設備改修工事の設計委託料、笹栗山団地2・3号棟及び一本杉

団地1・2号棟外壁改修工事の調査設計委託料、鍛冶屋町通り街なみ環境整備事業補助金の増額などです。

また、人吉・球磨スマートインターチェンジ整備事業予算について、平成28年度から30年度までの3年間の総額を5億8,457万8千円とする「継続費」が設定されています。

国道445号に計画されている上空通路建設計画に対して意見書提出を願う請願を採択

本請願は、2月8日に提出され、3月定例会から本委員会において継続して、慎重に審査をしてきたものです。請願の趣旨は、本市中心部の国道445号沿いにある2つの病院の3階部分を連結する上空通路建設計画に対し、同病院が国宝青井阿蘇神社の門前町である上青井町に位置することから、おくunch祭りの神幸行列への影響や昨年4月に「日本遺産」に認定された本市の歴史的景観を崩し、将来のまちづくりにも多大な影響を与える恐れがあるとして、県に対して、この事業申請を慎重に取り扱うよう意見書の提出を求められたものです。

委員会としては、4月に発生した熊本地震において、高速道路上の橋桁が落下した事実を踏まえ、また、本市の緊急輸送道路にかかる上空通路であることを深く考えるとともに、相良700年の歴史的遺産群の継承が認められ、第1回の「日本遺産」に認定されたこと、この歴史的遺産を子どもたちに継承していかなければならないとの総意により、本請願を採択しました。

市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 高瀬 堅一
●委員 塩見 寿子・犬童 利夫・西 信八郎・笹山 欣悟・村上 恵一・三倉 美千子・仲村 勝治

市庁舎建設に関する特別委員会を、閉会中の6月2日、定例会中の6月7日及び22日に開催し、新庁舎建設に向けての体制構築等について審議を行いました。

新庁舎建設の方向性を決定

今回の熊本地震では、災害対策本部の司令塔となるべき自治体本庁舎が被災するという事態が、本市以外にも相次ぎ発生しました。今後は、防災拠点となる庁舎建設が急務となります。市は、震災前は見直し案である分庁方式を基本に市民への理解を求めてきましたが、震災後は市民の安心・安全な生活を守るため堅牢な本庁舎建設への期待が高まったと捉えています。このような状況の変化により、市の考え方として、特別議決がなされた「西間下町字永溝7-1」の地に、「防災センター機能を備えた堅牢な総合庁舎」を一日も早く建設するという基本方針が示されました。今後は、平成28年度に基本・実施設計委託、平成30年度に工事着工、平成32年度に新本庁舎供用開始という予定で進められます。また、国の財政支援を求めるため、他の被災自治体と連携しながら、人吉市・人吉市議会合同で要望活動を進めてまいります。

「市庁舎建設準備室」を設置

新本庁舎の規模、事業費を明確にするため、7月1日に、室長、室長補佐、技師の3名で組織される「市庁舎建設準備室」が設置されました。今後、設計業

務委託、住民説明会等を行い、早急な建設に向け準備が進められます。

陳情案件を「趣旨採択」

人吉球磨建築設計事務所協会から提出された「人吉市より発注される新庁舎の移転建設計画の設計・監理業務を人吉球磨建築設計事務所協会に委託する陳情」は、表題の趣旨のとおり、人吉市在住の10社をプロジェクトとして事にあたり、円滑な事業完遂に協力したい旨の陳情であります。審議の中で、執行部から、協会の構成員の方々の受注実績を見た場合、当該業務を履行することができるかどうかの判断をするための重要な指標となる「同種又は類似業務の実績がある」とは判断しがたい状況である、との説明がありました。

委員から、設計委託でも、JV（共同企業体）により受託することは可能か、プロポーザル方式になったとしても、何らかの方法で地元の方が参加できることを模索していただきたい等の質疑・意見があり、委員全員が、採択は厳しいが趣旨には賛同するという意見でした。全会一致で趣旨採択としました。

※プロポーザル方式とは 企画競争とも言い、複数の業者に目的物に対する企画提案や技術提案を提出させ、企画内容や業務遂行能力が最も優れた者と契約する方式。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 福屋 法晴 ●副委員長 宮崎 保
●委員 宮原 将志・大塚 則男・平田 清吉・井上 光浩・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲

平成28年熊本地震の現状報告を受ける

第5回治水・防災に関する特別委員会を平成28年6月7日に開催し、4項目について審議を行いました。

まず、平成28年4月に発生した熊本地震に伴う現状報告については、一連の地震の概要、災害対策活動、市民一人から団体グループでの支援、災害ボランティアとして被災地での活動、救援物資の提供や被災者の受け入れ対応など、これまでの様々な対応や活動状況について報告を受けました。

委員から、人吉市における指定避難所の備蓄状況について質疑などがありました。

次に、人吉市総合防災マップについては、現在作成段階での説明でありましたが、町内会長や地元消

防団の方々などから幅広く御意見をいただいております。10月完成を目途にB4版で約2万部作成し、全家庭に配布予定とのことでした。

次に、人吉市地域防災計画見直しの概要については、県の基礎調査により土砂災害警戒区域・特別警戒区域が新たに181ヵ所追加指定されたことによる追加、市道における積雪対策の追加、災害時におけるペットの同行避難などについて修正するとの説明でした。

最後に、九州電力川内原子力発電所視察については、熊本地震の影響により、当初5月に予定をしていましたが、今後については、しばらく状況を見たうえで関係機関と協議を行い、時機を見て実施していくことに決定し閉会いたしました。



一般質問

6月定例会では、12人の議員が登壇し、市長の施政方針、災害・防災関連、市庁舎建設関連、教育や観光、農業関連など、幅広く活発な議論が行われました。
その要旨を各議員が報告します。

人吉鉄道ミュージアムの今後の運営は



福屋 法晴

問 鉄道ミュージアムの補助金は今後どのようなになるのか。

答 鉄道ミュージアムは、人吉市の単独事業で運営しているが、補助金は毎年国へ申請を行う必要があり、認定されると補助率は、国が二分の一となる。

問 入館料を払ってでも訪れたい施設であることが重要であり、大人だけでも徴収できないか。

答 人吉市の財政状況・地域経済への影響等を考慮し、今年度中に一定の方針を示したい。

問 地震に対する市営住宅の安全性・耐震性は大丈夫なのか。

答 鶴田団地を初め、鉄筋コンクリート造りの壁式構造については、国からは耐震性は十分で問題ないとのことであった。

庁舎への木材利用の考えは



永山 芳宏

問 公共施設の木造建築や木材利用が、全国的にも多く利用されている。本市は、林業の先進的な地域であり、伐期を迎えた良質な木材が生産されている。庁舎への木材利用の考えは。

答 本市、本地域は森の郷でもあるので、地元木材の利用には公共施設を初め積極的に努めていく。また、木質ハイブリッド集材や木質の大判パネルであるCLTなどの利用が木材の実用性を高めており、耐火・耐震・免震構造にも優れていると聞き及んでいる。RCやSRC構造であっても、地元木材を大いに取り入れたものにと考えている。地元木材の利用は、市庁舎建設においても大きなテーマの一つである。

熊本地震での本市水道水の状況について



豊永 貞夫

問 熊本地震の影響で、本市の水源の濁りが取れず、一部地域において断水が発生した。熊本市では公園の池が干上がったとの報道があったが、本市の水源の湧水量に影響はないのか。

答 本市の水源2カ所は「湧き水」、1カ所は「浅井戸」を使用している。湧水量は3カ所とも影響はない。

問 熊本の被災地では、断水時に井戸水を生活用水として使用している所があったようだが、本市も災害時に活用するため、井戸の現況調査が必要だと思いが本市の考えは。

答 災害時の緊急用に井戸水を活用することについて、今後調査検討したい。

※他、SL人吉の状況を質しました。



里道や水路の管理について



塩見 寿子

問 里道や水路の管理は。

答 日常の管理は地元の方や水路の受益者の方をお願いしている。

市は要望があれば生コンやU字溝などの原材料を支給している。

問 危険を指摘されている里道や水路については、市は積極的に対応すべきではないか。

答 日常の生活において危険と思われる箇所や、台風や豪雨などで緊急的に安全対策が必要になった場合は、現場を確認して市で対応等も考えていきたい。

問 災害時等支え合いマップとは。

答 市の出前講座を利用して、手助けが必要な方の所在、避難支援者や危険箇所を町内会で書き込み作成する地図である。現在22町内が作成済み。31年度までに全町内の作成が目標である。

災害対策支部会議のあり方



村上 恵一

問 災害対策支部の組織は昨年から改編されたが、支部によって組織の規模が大きくなり過ぎている。地域によって危険区域や災害要因などが違うため、資料には明記すべきではないか。

答 現在の組織体制で、今後はハザードマップも示しながら、各支部できめ細かな対応ができるように努力していく。

問 局地的な豪雨に対応できるように市内の支流に対しても、避難などの判断をするために、水位にに応じた体制の強化が必要ではないのか。

答 河川によっては水位計や監視カメラが設置してある。その他の河川では水防班の目視に頼らざるを得ない状況であるが、今後さらなる監視の強化を行う。

災害に強いまちづくり



本村 令斗

問 熊本地震では、水道水が出なくなった。浅井戸を増やしたり、浄水器を整備している自治体がある。このような準備をすべき。

答 水の確保は、あらゆる手段を研究、検討していきたい。

問 支援物資が、避難所などに届かない状況があった。順調な配給を検討しておくべき。

答 ボランティアや運送業者との連携など、早急に検討したい。

問 避難所生活の長期化では、生活環境の改善が必要。備えていない物資も、準備していくべき。

答 リースなども利用して、環境整備を行いたい。

問 系統的なプログラムによる防災の学習会を開くべき。

答 多くの方が、深い知識を得る講座の方法を検討していきたい。

論語の素読の実践は



仲村 勝治

問 江戸時代の寺子屋教育は「読み、書き、そろばん」であった。この教育システムは、子ども達にとつて脳の訓練と倫理観を身につける最も良い方法とされている。論語の素読を学校教育に取り入れる考えはないか。

答 論語は、すぐれた書物である。子どもたちから学んでいけば、人として大切にすべきこと、みずから守るべき規範を身につけることができる。素読を継続的に行うことによつて、日本語独特の韻と音を楽しむことができ、脳の活性化につながり、言語能力の向上を図ることができると言われている。今後の取り組みとして、各小中学校の現状を把握し、導入の可能性について、意見を伺う等検討したい。

防災機能を備えた道の駅の設置について



宮原 将志

問 防災機能を備えた道の駅の整備について検討をしてはどうか。

答 道の駅は、国道という交通上重要な場所に位置し、復旧支援活動、救援物資の供給拠点等さまざまな対応が期待できるため、今後どういった防災拠点になり得るかも含め検討していく。

問 広い駐車スペースを持つ石野公園は防災機能を備えた道の駅として最適であり、スマートインターが近くに開通することも考えると観光の拠点としても最適であると考えますが、石野公園の道の駅への登録の可能性は。

答 都市公園法の中で道の駅として設置できるかを国や県と協議し、登録の目的がたつた場合には、関係者の意見を聞きながら、実現に向け検討していく。

地震時の避難と断水時の飲料水について



犬童 利夫

問 地震時の避難所でのケアとマインナーの活用及び断水時の飲料水の確保等について。

答 避難者から相談などの対応は、保健師や看護師など資格を持った職員が対応する。また、避難所の衛生管理、プライバシーへの配慮など定めているが、避難生活が長期化した場合の対応は大変難しく、関係機関や他自治体と連携を取りたい。マイナーの活用ができれば、避難所における迅速で効率的な行政支援が可能になる。今回の地震時の断水の対応は、給水車や他町の給水タンクなどを借用して対応した。飲料水兼用耐震貯水槽は有用であり検討したい。
※他、業務移転に伴う市庁舎の防火管理体制等について質しました。

観光について今後の支援策は



宮崎 保

問 「熊本地震復興・経済活性化連絡会」における観光産業の創造的回復の具体的内容は。

答 今回の震災により、官民一体となって知恵と力を合わせ協力し、支え合う絆が重要であると認識した。この教訓を生かし、人材育成の重要性、人と自然の共生の重要性という視点から、観光での環境整備、生活支援やインフラ復旧、高速道路無料化の要望等を、関係団体一体となり取り組んでいく。

問 人吉に観光で来られた帰りに、県内自治体へ観光客を回遊させる方策を検討しては。

答 観光における広域的回遊は、有効な手段と認識している。回復の兆しと合わせ、近隣の自治体と協力し取り組んでいく。

災害対策並びに災害対応について



平田 清吉

問 大雨やゲリラ豪雨に対して、行政としての対策は。

答 気象庁から大雨洪水警報が発令されると、災害対策本部総務班と水防班で待機を行う。

問 国は、罹災証明書を発行できる職員の育成を自治体に求めているが、速やかに証明書を発行するには、今後どのような対策を取るつもりか。

答 本市の罹災証明書の発行に伴う体制は不十分であり、早急な体制づくりが必要であると考えている。今後、職員研修に取り組んでいきたい。

※その他、4月の熊本地震に鑑み想定できるあらゆる災害に対して、職員の人事異動があったとしても、市民の被災に対応できるマニュアルは作成してあるのか質問。





市長の政治姿勢について



笹山 欣悟

問

公約とはほど遠い総合庁舎方式に大きく転換したことを、市民にどう説明責任を果たすのか。また今回の方向転換については、市民に信を問うべきではないか。

答

私の政治理念は、市民の生命、財産、生活、権利を守るという決意と、健全財政の堅持という信念であり、さまざまに議論いただいたことは有意義であった。市民の皆様へは、広報ひとよしやホームページなどにより、また公聴会、未来カフェを開催し説明責任を果たしてまいりたい。しかし、総合庁舎方式への方向転換に至るまでのプロセスは不十分で、お詫びを申し上げるしかない。市民に信を問うという説より、市長が決定したという説明責任を果たしてまいりたい。

平成28年6月定例会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果
議 第 55 号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度人吉市一般会計補正予算（第9号））	原案承認
議 第 56 号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第6号））	原案承認
議 第 57 号	専決処分の承認を求めることについて（人吉市税条例等の一部を改正する条例）	原案承認
議 第 58 号	専決処分の承認を求めることについて（人吉市都市計画税条例の一部を改正する条例）	原案承認
議 第 59 号	専決処分の承認を求めることについて（人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	原案承認
議 第 60 号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年度人吉市一般会計補正予算（第1号））	原案承認
議 第 61 号	専決処分の承認を求めることについて（平成28年熊本地震による人吉市庁舎一時移転に伴う人吉市が定める条例の特例に関する条例）	原案承認
議 第 62 号	平成28年度人吉市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議 第 63 号	平成28年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 第 64 号	平成28年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 第 65 号	平成28年度人吉市水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 第 66 号	平成28年熊本地震による人吉市庁舎一時移転に伴う人吉市が定める条例の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 67 号	人吉城歴史館条例及び人吉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 68 号	人吉市水道事業運営審議会条例の制定について	原案可決
議 第 69 号	市道路線の廃止について	原案可決
議 第 70 号	市道路線の認定について	原案可決
諮 第 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
諮 第 3 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
意見第5号	国道445号に計画されている上空通路建設計画に対して、慎重な対応を求める意見書	原案可決
意見第6号	被災者生活再建支援法の改正を求める意見書	原案可決
意見第7号	平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書	原案可決
意見第8号	行政庁舎等再建についての国庫補助制度の創設を求める意見書	原案可決

平成28年6月定例会の請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件 名	議決結果
市庁舎建設に関する特別委員会	人吉市より発注される新庁舎の移転建設計画の設計・監理業務を人吉球磨建築設計事務所協会に委託する陳情	趣旨採択
経済建設委員会	国道445号に計画されている上空通路建設計画に対して意見書提出を願う請願	採 択

平成28年7月臨時会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果
議第71号	平成28年度人吉市一般会計補正予算（第3号）	原案可決

6月定例会で意見書4件を可決し、関係機関へ提出しました

意見第5号 国道445号に計画されている上空通路建設計画に対して、慎重な対応を求める意見書

意見第6号 被災者生活再建支援法の改正を求める意見書

意見第7号 平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書

意見第8号 行政庁舎等再建についての国庫補助制度の創設を求める意見書

なお、意見第5号については、7月14日に熊本県に対し直接趣旨を説明したあと意見書を手渡しました。

平成27年度政務活動費収支報告書

政務活動費とは……議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として地方自治法で交付が認められているものです。

氏名	収入	支							出				合計
		調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費		
塩見寿子	220,000	57,186	78,480	21,475	0	0	0	0	17,096	0	108,064	282,301	
宮原将志	220,000	50,613	135,221	65,995	0	0	0	0	40,652	0	0	292,481	
高瀬堅一	220,000	64,725	0	1,195	0	0	0	0	16,200	0	0	82,120	
大塚則男	240,000	195,484	161,480	1,195	0	0	0	0	0	0	0	358,159	
宮崎 保	240,000	57,186	23,229	150,065	0	0	0	0	13,300	0	0	243,780	
平田清吉	240,000	51,513	67,486	1,195	0	0	0	0	28,716	0	0	148,910	
犬童利夫	220,000	195,482	118,300	1,195	0	0	0	0	0	0	0	314,977	
井上光浩	240,000	130,758	0	1,195	0	0	0	928	0	0	1,620	134,501	
豊永貞夫	220,000	57,186	107,296	11,035	0	0	0	4,769	9,482	0	0	189,768	
西 信八郎	220,000	0	107,294	1,195	0	0	0	0	173,785	0	0	282,274	
本村令斗	220,000	57,186	2,000	21,475	0	0	0	4,143	30,290	0	108,065	223,159	
笹山欣悟	240,000	57,185	101,280	18,851	0	0	0	6,735	25,308	0	109,907	319,266	
福屋法晴	220,000	64,670	107,294	1,195	0	0	0	1,738	13,871	0	0	188,768	
村上恵一	220,000	195,482	0	9,185	0	0	0	0	0	0	36,666	241,333	
永山芳宏	220,000	0	44,954	1,195	0	0	0	0	0	0	0	46,149	
三倉美千子	220,000	64,670	107,294	1,195	0	0	0	19,185	12,000	0	0	204,344	
仲村勝治	240,000	51,674	97,817	32,495	0	0	0	0	2,570	0	1,955	186,511	
田中 哲	240,000	0	0	1,195	0	0	0	11,475	0	0	10,878	23,548	
合計	4,100,000	1,351,000	1,259,425	342,526	0	0	0	48,973	383,270	0	377,155	3,762,349	

注) ・政務活動費の交付を受けた議員を掲載しています。

・政務活動費の交付額は月額2万円。平成27年4月に改選があり、新たに当選した議員は5月分からが交付対象となり、交付額は同一ではありません。

・当初から収支報告書には金額の多寡を問わず領収書の写しを添えて提出することと定めています。

・支出額が収入額を上回っても交付額の増額はありませぬ。支出額が収入額を下回った場合は残余を全額返還しなければなりません。

南九州中部市議会議長会議員研修会

平成28年7月8日 えびの市にて開催



竹中雪宏えびの市議会議長挨拶



講師の藤本氏

南九州中部市議会議長会は小林市、えびの市、伊佐市、人吉市の4市議会議長で構成され、毎年全議員を対象とした研修会を行っています。今年は「えびの市の一貫教育について」、「広告に見る『人を動かす』工夫」と題して、えびの市学校教育課 肝付正籍指導主事と、同じく企画課 藤本浩司シティセールスアドバイザーによる講演が行われました。

講演後には、次の決議5件を採択しました。なお、「行政庁舎等の防災機能充実強化を図る国庫補助制度の創設を求める決議」については、熊本地震に伴い、本年度新たに採択しました。

- 1 国道221号、267号、447号の整備促進を求める決議
- 2 地域医療の確保を求める決議
- 3 口蹄疫被害からの復興及び豚流行性下痢（PED）、高病原性鳥インフルエンザ対策並びに配合飼料価格高騰と粗飼料増産確保対策を求める決議
- 4 霧島連山・新燃岳・硫黄山の噴火災害対策を求める決議
- 5 行政庁舎等の防災機能充実強化を図る国庫補助制度の創設を求める決議

この決議については、8月16日、17日に南九州中部市議会議長会で、関係省庁や地元選出国會議員へ要望活動を行う予定です。

編集後記

6月定例会は、4月に発生した熊本地震の影響を受け、市庁舎に亀裂が入り危険であるとの調査結果を受け、議場をカルチャーパレス本庁舎2階に移転して行なわれました。これまで54年間人吉市の発展を審議・議論してきた麓町本庁舎の神聖な議場は、二度と開かれることはありません。寂しい気持ちです。今後、人吉市民の安全・安心を議論する議場の早期建設が望まれます。また人吉市民の皆様が避難でき、防災機能を兼ね備えた、堅牢で人吉独自の文化に触れることができる新庁舎建設が必要であり、市民の皆様のご意見を議会に提案していただきますようお願いいたします。

(表紙写真・文責…
福屋法晴)



次の定例会は
9月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／田中 哲 副委員長／仲村 勝治
委員／塩見 寿子・宮原 将志・平田 清吉・本村 令斗・福屋 法晴・三倉 美千子